

2022ワークキャンプ 8 8/4～9 東京港5団キャンプ支援

今回は東京港5団が大自然のひろばを使用してキャンプを行うので、スカウトの移動手伝いとプログラム支援を行いました。キャンプ中にこちらの仕事として、キャビンBを木工作業所にするために、荷物の運搬や天水運用設備のテスト、ログハウスと倉庫の整理も行いました。

8月4日(木) 松田の家を4時に出発・・山中湖(4:45)・河口湖(5:5)・甲府(5:40)・野辺山(6:50 20℃)・・佐久(7:30) 山荘(8:00) 天候は曇り所により霧。山荘に到着してログハウスに荷物を運び入れて、キャビンAB、ホールの換気を行い、雨水タンクが満水なのを確認してポンプを始動。水道が運転できているか確認しました。

11時10分、港5団の荷物運搬車(ハイエース)と飯盛氏が運転する乗用車が到着。スカウトは12時30分にJR小海線中込駅に到着します。スカウトの移動のために、ハイエースに積んできたキャンプ道具などを降ろします。パレットを6枚使って荷物を降ろし、雨が心配なのでブルーシートで覆いました。各自、昼食を済ませて12時5分ごろスカウトを迎えに中込駅に3台で出発(ハイエース・乗用車・NBOX)スカウトを分乗させてきます。市内に入ると晴れています。気温も高く、26℃ぐらいでした。駅から荒船山を見ると、雲の中。定刻通りに列車が到着してスカウトと茂木隊長が駅前に降りてきました。高速バス・JRでの移動は順調だったようです。スカウト11名・リーダー5名



13時10分大自然のひろば到着、開会式の準備を行い、中央広場で開会式。大自然のひろばとして、挨拶を行いました。天候は霧と小雨、設営前に個人備品をホールに移動させて着替えを行い、タープ・個人テントの順番で設営を行いました。タープのペグが細いので、鉄製の食堂タープ用の大型ペグを貸し出して、支柱・四隅に使用するようにアドバイス。こちらからの貸し出し備品はテーブル3、椅子10、スコップ、リヤカー、ロケットストーブなどです。



16時40分ごろから強い夕立、低いところに設営した個人テントは水没、タープも水道に張ったところはあとで改善が必要です。夕食作り(生姜焼き・ごはん)はロケットストーブに慣れていないので、少し手こずっていました。

19時30分からホールにて、ゲーム(スパゲティージャクション)と私が行った海外派遣事業の紹介(スライドショー)を行いました。また、スカウト関係の書籍が20冊ほどあったので希望者に配布しました。活用してくれることを祈ります。手作りのホールができたので、荒天時の避難場所や研修などに活用できるので、便利になりました。簡易水洗トイレも清潔で使いやすいです。

スカウトはキャンプサイトに帰り、班集会・班長会議などを行っています。私はログハウスに帰り、今日の振り返りと読書、22時ごろに飯盛さん、工藤さんが帰ってきたので、情報交換会を行ってから、24時就寝。



8月5日(金) 15℃ 霧 6時起床 寒いので薪ストーブを焚く スカウト11名 L6名

早朝に飯盛さんから相談があると言われて、茂木隊長が発熱(38℃) 喉の痛みがあり、コロナ検査キットで検査したところ、陽性反応が出てしまった。まずはキャビンAに隔離して家族に連絡。都合がつけば迎えを要請することとしました。日下田副長を代理の隊長としてキャンプは継続する事にしました。日下田隊長代理はとても不安そうなので、ログハウスに来てもらい、プログラム支援について話し合いました。大自然のひろばとして私が提供できるプログラムを提案して、事前に茂木隊長から依頼のあった内容を話してこれからの5日間をどのようにプログラムするか、確認しました。そこで、今日の午前中は雨が降っても大丈夫なようにサイト整備を行い午後からグリーンウッドワーク・ネームスティックとコースター作り。その後にブッシュクラフトで椅子づくりを行うこととしました。なかなか時間どうりには食事や生活が出来ないのでプログラム時間が、遅れてきます。開会式で21WSJのキャンプチーフ「ルコック氏」の話をしました。



「毎日の運営会議では謝ることばかりですが、キャンプが終わる頃にはみんな上手くやれるようになるから、協力してください」決めた時間どうりにならなくても、毎日進歩しているからそこを見つけて欲しい。時間通りに進まなくても、プロセスを大切に生活してください。

午後のプログラムは13時30分から(30分遅れ) 桑の小枝を使って(小径木)「ネームスティック」、杉とにれの木を使って「コースター」ホールでウッドバーニング(焼きごてで文字や絵を描く) コロナ対策として3箇所(ログハウス前 高森・キャビンB 飯盛・ホール 日下田)で分散して作業できるように工夫しました。それぞれのクラフトワークにスカウトが真剣に取り組ん



で、ウッドバーニングは無言で夢中になっている姿が印象的でした。全ての作業を終えることができなかったので(ウッドバーニング機材1台)ホールを解放しておくので、余暇時間に作業できるようにしておきました。プログラムの合間にキャビンBの荷物をホールに移動しました。

30分休憩して、15時からブッシュクラフト椅子づくりを行いました。まず、完成した椅子(三脚に布地を設置)を見てもらって、長さ1m50cmのなるべくまっすぐな木を3本と横木(座面)にする1m10cmぐらいの木を森から切って来る作業です。BS隊2チーム、VS隊2



チームで森に向かいます。BSチームは倒木を拾って来たのですが、強度が足りないのと汚れているので、立木を探すようお願いしました。VSチームは体力もあり早い時間に木を切り出して来ました。

三本の木で三脚を作ります。上から10cmぐらいのところ、巻き結びを作り、後の二本を八の字に巻きつけていきます。最後に割りを入れて最初の巻き結びと繋ぐ。ロープは三尋ぐらい。出来上がったら、布地（あらかじめ上部5cm下部10cmの折り返し縫い）上部にロープを通して、三脚の頭に結ぶ。下部に横木を通して座席にする。三脚と上部のロープを調整して座りやすい位置を確認する。二人で座ることもできるし、リクライニングも自在です。



16時30分ごろには各チーム椅子が完成したので、ホール前にて記念撮影。これから、キャンプサイトで使用します。最終日にこの椅子は持ち帰りました。森にある木を利用したブッシュクラフトを覚えると、木を見るスカウトたちの目が変わって来たようです。森は霧の中。



スカウトたちのキャンプ生活に慣れて、ロケットストーブの使い方も上手になって来ました。今夜はサンピア佐久温泉に行くことにしました。夕食も温泉の食堂でいただきます。 23時就寝

8月6日（土） 16℃ 霧のちはれ 薪ストーブを焚く スカウト11名 L5名

早朝にVSスカウト2名が遊びに来て、雑談！ これが楽しい。

今日は唐松の伐採作業を行うので、チェーンソー、ザイル、滑車、ウインチ、クサビ、燃料などをリヤカーに積み込んで、準備を行う。伐採する唐松はかかり木しないように広い場所に立っている木を選択しました。9時30分から倉庫前で今日の作業手順をスカウトに説明。リヤカーを引いて伐採場所に案内。キャンプ場池の近くにある唐松を伐採することを知らせて、伐採準備を始める。スローラインで伐採する木の上部にザイルをかける。伐採する方向にザイルを伸ばして滑車を設置、60度ほど東側の安全な場所にスリングロープを巻いて、ウインチで牽引できるように準備するなどを、スカウトと一緒に実施しました。スカウトへの安全対策





として、伐採する木とザイルを張った内部（三角形）には立ち入らないこと、木が倒れるまで目を離さないことなどを伝えました。チェーンソーはスティール261（大型です）唐松の下部に小口と追い口をチョークで書いて、小口から切っていきます。追い口を入れて。クサビを打ち込み。ウインチを引くように指示して、ゆっくりと南側に倒れてきたら、樹木から離れま



した。どすんと地響きがして、唐松が倒れました。根元97cm 樹高27m 樹齢40年 チェンソーで枝を落として、薪にするために

40cmの玉切りにします。伐採の道具を清掃してから倉庫に運び作業は終了です。スカウトはサイトに戻って昼食づくり、私は唐松の玉切りを続けて、木の後始末。玉切りした丸太は午後から、薪置き場に運ぶことにしました。



午後からは薪割りプログラム、5種類の道具で唐松の丸太を薪にします。1マサカリ、2ロングアックス、3手動油圧（11トン）薪割り機、4ハンドスプリッター、5手斧（アックス）それぞれに特徴があり、怪我をする危険性もあるので、最初に道具の特徴と握り方など手本を見せてから、順番に実施しました。BSとVSの2グループにしたのは人数が多くなると近づきすぎて危険だからです。まず、薪置き場から自分が割る丸太を選んでもらいます。最初は手動の油圧薪割り機、ハンドスプリッターで4分の1ぐらいまで薪を割り、次はマサカリかロングアックスでもう少

し細かく割ります。最後は手斧（アックス）で2センチぐらいまで割って、手斧でフェザースティックを作ります。ここまでできると、火がしっかり管理できるのでキャンプ料理も簡単です。小学校6年生のはなさんはマサカリで見事に薪を割って、気持ちよくなって来ました。力がなくても、木目を見てマサカリを振り下ろすと見事に真っ二つになるので、このプログラムがみなさん気に入ったようです。帰りに自分で割った薪は全部東京に持ち帰りました。



今夜はバーベキューなので一緒にいただきました。鳥肉・豚肉・牛肉・野菜各種特にパプリカが美味！ベンチャースカウトが協力して焼いてくれたので、お腹いっぱい、美味しかった。

バーベキュー後はログハウスで情報交換会、ミヤマクワガタがログハウスに入って来ました。 23時就寝



8月7日(日) 16℃ 霧のちはれ(湿度低い) スカウト11名 L6名

気圧配置が変わって来て、天気は回復して来ました。日差しは強いですが湿度も低く、木陰は快適です。昨夜、ログハウスに迷い込んだミヤマクワガタはプラスチック容器に入れて蓋をしていたのですが、蓋を押し上げて逃げていました。力がありますね！朝のお茶を飲んでいると、南側のガラス戸でカタカタと音がしています。クワガタは蜘蛛の糸に絡まって、逃げようとしていましたが、蜘蛛の糸は強くてどんどん絡まってしまいます。ミヤマクワガタは漢字で書くと「深山鋏形」深い山奥に生息する滅多に見ない種類です。そして、サイズも9センチあり大型で貴重な鋏形なので、スカウトに見せてからリリースすることにしました。



スカウトは午前中に荒船山登山の予定です。私は8日夜に実施するキャンプファイアの会場づくり(草刈りと場内整備)を行います。2時間ほどで作業が終了して、今夜実施する料理に使えるトーチを作成しました。



丸太で3種類のスウェーデントーチ(ロケットストーブ型、丸太半割型、スウェーデントーチ)

を作り夜に備えます。午後からはキャビンBに展示したあった二点の絵をホールに運んで北側と東側の壁に展示。16時には作業終了して、サンピア佐久温泉でゆっくりリフレッシュ！

スカウトも荒船山ハイキングから帰って来て、疲れたと思いますが、気分は上々です。楽しいキャンプみんな笑顔で活動しています。



19時ごろに暗くなって来て、スウェーデントーチ3種類に点火してみんなで楽しみました。スカウトも温泉に行って、気持ちよく寝ていることでしょう。 23時就寝

8月8日(月) 18℃ はれ 天候は良くなっている スカウト12名 L6名 来客1 神父1
天気は上々、今日は山口さん(93歳)と岡団委員長が来場します。

9時30分に内山大橋へお客様を迎えに、真柄さんは東京のガールスカウトリーダーで軽井沢に別荘があり、見学にきたいという連絡が来たのでお迎えしました。ホールやキャビン、キャンプ場を案内して、ログハウスで情報交換。昼食はホットサンドにしました。

12時ごろに山口さん岡団委員長が来場、キャンプ場をスタスタと歩いて本当に元気です。よくお話します。15時から野外ミサの予定で、スカウトも指導者も準備しています。ベンチャースカウトがブッシュクラフトで覚えた技術を使って大きな十字架を作りました。立派です！神父は少



し迷ったようですが、約束の時間には到着して、中央広場でミサを行いました。森の中は木漏れ日が届いき鳥の鳴き声と、爽やかな風が吹いてとても気持ちの良い空間でした。



晴天の中で行われたミサは16時に終了！後片付けをしていると、黒雲が現れて40分から強い雷雨になりました。山の天気は気まぐれです。

今夜はキャンプファイアーが予定されています。ベンチャースカウトが司会進行します。そのため色々計画しているようです。始まるまでは山口さんとログハウスで休憩します。

定刻より60分遅れでキャンプファイアー開始。歌と踊り、スタントのファイアーは楽しく愉快でした。10代から90代までのスカウトがみんな楽しんで、一つになるのがキャンプファイ



アーです。このファイアーは大自然のひろばで育った唐松を使用しました。

情報交換後に23時就寝

8月9日(火) 18℃ はれ キャンプ最終日 スカウト12名 L5

キャンプ最終日、徹営作業のため朝礼は行いません。ゴミ処理について、燃えるゴミ・ペットボトルは9時までに東屋へ持ってくる。生ゴミはコンポストに入れて上から土と草を被せて処理。ビンとカンを持ち帰り。11時に中央広場で閉村式。

天気が良かったのでスカウトたち



はテント類の乾燥作業と個人備品の整理・パッキングを行う徹営作業は順調に進み、貸し出し備品も倉庫に収納して施錠。こちらも施設の閉鎖作業を順調に進めることができました。予定通り、閉村式を行いました。閉村式の挨拶は、必ずまたこのキャンプ場に遊びに来てくださいますようお願いしました。将来、今回覚えた技能を他のスカウトに伝えてくれることを願いました。

スカウトは分乗して中込駅に出発、全員乗車できないので二回に分けて移動しました。

大自然のひろばは5年かけて倉庫・ホール・キャビンの整備を続けて来ました。この三年間はコロナ自粛によって利用する人も家族や個人でしたが、今年は東京港5団が利用しました。スカウトも指導者も野外体験があまりないので、こちらから「グリーンウッドワーク」「ウッドバーニング」「ブッシュクラフト」「唐松の伐採」「丸太から薪作り」など木を使ったプログラムを提供しました。これには全てつながりがあり、伐採した木の始末。森にある木の利用方法。などそこにある自然を利用する方法です。そして、雨水利用システムなどはこれから都市部でも家庭でも活用できると考えています。今後は今回実施したプログラムを多くの大人と子どもに提供していきたいと考えています。 ご協力をお願いします。



次回は8月下旬にキャビンB（木工作業所）に作業テーブルと照明を取り付けます。キャビンAの入り口に雨よけの屋根をつける予定です。